



国労東京支部

No.1 2021・3・15

国鉄労働組合東京支部機関紙

発行責任者 野佐根 浩巳

編集責任者 佐藤 賢一

国労東京支部結成 次世代に運動をつなげよう！

国労の都内5支部（新橋、上野、大井工場、中央、自動車）は2月27日、田町交通ビルに於いて第1回東京支部大会（結成大会）を開催した。

大会は、木村旧大井工場支部委員長の開会あいさつで始まり、議長・副議長に橋本代議員（新橋）・南澤代議員（中央）をそれぞれ選出した。



はじめに鈴木東京支部実行委員長は、「分会活動の活性化を通して組織の強化・拡大を勝ち取り、若手に運動を継承する。職場では過半数代表者選挙が闘われているが、しっかりと国労の主張をしていこう。2021年春闘が闘われている。経営側は、コロナ禍で賃上げどころではない、と牽制しているが、すべてのしわ寄せが労働者に押しつけられることのないように闘っていく必要がある」と述べた。



集結した5支部の組合旗

続いて、石井東京地本書記長から連帯のあいさつを受け、神奈川・八王子・大宮の各地区本部からのメッセージが紹介され、議事へと入った。

続いて、石井東京地本書記長から連帯のあいさつを受け、神奈川・八王子・大宮の各地区本部からのメッセージが紹介され、議事へと入った。

東京支部結成までの経過

2018年9月、第69回東京地方大会において、組織検討委員会より「都内5支部の統合が望ましい」との答申がされ、2018年度6回、2019年度7回にわたり「都内支部対策会議」を開催し、2020年9月8日に実行委員会準備会発足、同10月13日に第1回都内支部実行委員会を開催し、事務局会議を含めて10回の会議を開催し、今日の東京支部結成となった。

引き続き議題では、東京支部規約制定について、2020年度運動方針（案）、2020年度予算（案）、ストライキ権の確立が提起され、全体の拍手で確認された。



野佐根委員長による団結がんばろう

新役員が選出され、大会宣言は恒本執行委員が提案し採択された。

最後に野佐根委員長の全身全霊を込めた団結がんばろうで大会は成功裡に終了した。

2020年度東京支部役員体制

執行委員長	野佐根 浩巳（総括・政治共闘部長）	上野保線技術センター
執行副委員長	上田 智太郎（総括補佐・総務部担当）	田端運転所
書記長	鈴木 敏（戦術委員長）	尾久駅
執行委員	市川 修（総務部長・政治共闘担当）	川崎発電所
	八郷 清幸（財政部長）	蒲田駅
	岡部 貴一（業務部長・教宣担当）	東京信号技術センター
	千田 永（組織部長・教宣、福対担当）	大田運輸区
	佐藤 賢一（教宣部長・福対担当）	池袋駅
	佐藤 誠（調査部長・業務担当）	JR 東日本運輸サービス
	竹田 文利（福対部長・組織担当）	目黒駅
	恒本 肇（法対部長・業務、調査担当）	高田馬場駅
	島崎 将（財政、調査担当）	上野車掌区
	地口 明世（業務、組織、法対担当）	品川駅
	山田 克之（政治共闘、業務、組織担当）	東京工事事務所
	伊東 敏明（財政、政治共闘担当）	KSS 八潮事業所
会計監査員	堀 知明	目黒駅
	加藤 英樹	東京通信技術センター
	中山 充郎	信濃町駅
女性部長	加藤 照代	JR 東京総合病院
青年部長	早川 義貴	大井工場

国労東京支部発足にあたり

国労東京支部執行委員長 野佐根 浩巳

これまで5支部それぞれの運動の歴史と伝統・闘いがあり、各支部の旗を閉じることは大変残念であることは言うまでもありません。結成実行委員会として、さまざまな思いも受け止めながら、何度も対策会議や打ち合わせを開催してきました。2年半の時間を要しましたが、今後の課題と展望を見出し、さまざまな障害を乗り越えることが出来ました。

国労運動を次の世代につないでいくことの重要性和責任感をみんなが持ち合うことが出来たことは、今後の運動の大きな一歩となると確信しています。結成後の具体的課題はこれからであり、形を変えれば活性化するというものではありません。会社の攻撃に直接さらされている組合員と職場の苦悩・働かされ方に身近に接し、現場組合員と支部が一体となった闘いを構築していきたいと考えます。

当面は新型コロナウイルス感染症対策をしながらの窮屈な活動となりますが、職場・分会、東京支部との連携を強め、諸課題実現に向け精いっぱい頑張っていく決意です。